

## ヒト疾患モデル研究センター・生命研合同セミナー 生命科学研究所大学院講義

日時 2018年10月17日(水) 16:30~18:00  
場所 生命医科学研究所2階大講義室  
演者 GLEN N. BARBER, Ph. D.  
Chairman and Professor, Department of Cell Biology,  
University of Miami School of Medicine  
演題 「STING-Controlled Innate Immune Signaling in Inflammation and Cancer」

### 概要

Glen Barber 博士はインターフェロンの研究で著名な業績を挙げておられ、dsRNA-dependent protein kinase PKR のクローニングや、腫瘍細胞が IFN 感受性を失うことを利用したウイルスによるがん治療法を開発しておられます。また、2008 年には世界に先駆けて STING を発見され、ウイルス感染に対する自然免疫応答における重要性を明らかにされました (*Nature*, 455, 674, 2008; *Nature*, 461, 788, 2009)。さらに、STING が細胞内 dsDNA を直接認識していることや、新規のセカンドメッセンジャーとして注目される cyclic GMP-AMP 合成酵素(cGAS)とオートファジーを介した STING シグナルの制御、自己免疫疾患への関与、さらに発がんへの関与など、多くの興味深い報告をしておられます (*PNAS*, 109, 19386, 2012; *Mol. Cell*, 50, 5, 2013; *Cell*, 155, 688, 2013; *Nat. Rev. Immunol.*, 15, 760, 2015; *Oncogene* 37, 2017, 2018; *Cell Rep.*, 23, 1112, 2018, *Cancer Cell*, 33, 862, 2018; *Nat. Immunol.*, 2018 Sept. 10)。今回、学振の外国人研究者招聘事業で生命研に客員教授として滞在されるのを機会にセミナーをお願いしました。多くの方々のご参加とご討論をお待ちしております。

世話人：岩倉洋一郎  
東京理科大学生命医科学研究所  
ヒト疾患モデル研究センター